

平成 28 年度第2回霧島市子ども・子育て会議 会議要旨

開催日時	平成 28 年9月 24 日(土) 午後2時から午後4時
開催場所	霧島市こどもセンター 遊戯室
出席委員	鬼塚会長、松崎委員、加倉委員、加来委員、谷口委員、田中委員、川畑委員、中野委員、松元委員、外園委員、平原委員、鮫嶋委員
事務局	越口保健福祉部長、田上子育て支援課長、鮫島子ども家庭支援室長、山口子ども・子育てグループ長、富田保育・幼稚園グループ長、福永障害福祉グループ長、すこやか保健センター地域保健グループ中村サブリーダー、西村主査、今村主査、出口主査、森枝主事
公開・一部非公開 又は非公開の別	公開
傍聴人数	1人
協議等内容	<p>(1) 平成 27 年度霧島市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について</p> <p>(2) 平成 29 年度教育・保育施設の開設(認可)について</p> <p>(3) きりしま子育て合言葉(仮称)作成について</p> <p>(4) その他</p>
協議における主な意見等の概要及び事務局からの回答	<p>(1)平成 27 年度霧島市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について</p> <p>事務局より配布資料(資料1、事前配布資料)に基づき説明</p> <p>① 放課後児童健全育成事業について、平成 27 年度の実施箇所数が 36 箇所、平成 31 年度の目標値が 42 箇所となっているが、具体的な計画はあるのか。</p> <p>同様に、放課後児童健全育成事業における障害者受入推進事業について、平成 27 年度の実施箇所数は 20 箇所、平成 31 年度の目標値が 25 箇所となっているが、具体的な計画はあるのか。</p> <p>⇒ 現時点で具体的な計画はないが、放課後児童クラブを利用出来ない声はいくつかの地域で上がっているため、調査をした上で施設の整備等を進めることとしたい。</p> <p>② 放課後児童健全育成事業における障害者受入推進事業について、国の制度に従うのみではなく、自治体としての考えを持って、補助要件を緩和する等、補助の拡充を行うべきではないか。</p> <p>③ 放課後児童健全育成事業における障害者受入推進事業について、手帳を持たない児童は対象とならないのか。</p> <p>⇒ 手帳を持たない児童についても、実態を見て補助対象とすることも可能である。</p> <p>④ 幼稚園教諭・保育士の合同研修については、実施回数等計画で定めているのか。</p> <p>⇒ 現時点では年1回の実施となっている。</p>

- ⑤ 保育士確保について、市として何か対策を行っているのか。
⇒ 保育士の処遇改善のため、賃金改善分として運営費の上乗せ支給を行っている。
- ⑥ 母子健診事業について、待ち時間が長く、保健師に相談がしづらい現状がある。健診体制を見直すとするが、どのように見直すのか。
⇒ 国分会場では1歳6カ月児健診・3歳児健診ともに月に2回ずつ実施している。しかし、隼人会場は、小児科医の確保が難しい現状があり月に1回ずつ実施している現状である。今年度から霧島市立医師会医療センターに小児科医が2人赴任され、始良地区医師会へ小児科医師のご協力がいただけるよう依頼している。それが実現すれば、29年度から隼人会場でも月2回ずつ実施できると考えている。
- ⑦ 放課後児童健全育成事業における質の向上について、指導員の研修について何か計画があるのか。
⇒ 放課後児童クラブの支援センターを活用して、市内児童クラブの指導員が専門的な研修を受けられるような体制づくりを検討している。
- ⑧ 母子健康手帳交付事業において、妊娠11週以下での妊娠の届出率が、平成27年度は90%となっているが、残りの10%の方のどのような実態なのか。
⇒ 残りの10%は、11週を少し過ぎてからの届出が多く、9%が19週までに届出している。20週を過ぎるのは1%である。この1%は支援が必要な妊婦であり、地区担当保健師が訪問や病院での面接等、届出があった時点から支援を開始している。
- ⑨ 病児・病後児保育事業について、目標値達成に向けた計画はあるのか。
⇒ 現在の目標値は、国の定めた基本的な方法を用いて算出してある。現状目標と実績に大きな乖離があるため、実績やニーズを踏まえて目標値の修正も検討する必要がある。
- ⑩ 進捗状況がCとなっている事業について、今後どのような取組を行っていくのか。
⇒ 一時預かり事業については、利用ニーズ及び利用人数を精査した上で、事業の推進を行っていききたい。
障害者自立支援医療費給付事業については、受給者数、給付金額ともに年々増加しており、必要な方にはほぼ行き届いているような状況であるため、計画の見直しも検討しながら事業の推進を行っていききたい。
母子家庭等自立支援教育訓練給付については、資格取得が必要な方の掘り起しや、ハローワークとの連携を行うことで、受給者数を増やしていきたい。

(2)平成29年度教育・保育施設の開設(認可)について

事務局より配布資料(資料2、資料2別紙、資料3)に基づき説明

- ① 鹿児島空港わらべ保育園については、空港職員用の保育所となるのか。
⇒ 認可保育所であり、広く地域の方の受入も行われるが、主に空港や空港周辺に勤める方の利用が想定される。
- ② ニチイ学館(株)の事業内容はどのようなものか。
⇒ 全国的に保育事業や介護事業等を行っている企業となっている。

③ ニチイキッズ霧島中央保育園(仮称)について、2歳児までの受入となっているが、3歳児以降はどのようになるのか。

⇒ 卒園児の受け皿となる、連携施設の確保を要請している。連携施設の確保については、次回以降の会議で報告する。

(3) きりしま子育て合言葉(仮称)作成について

事務局より配布資料(資料4)に基づき説明

① 標語を作成した後、どのように活用していくのか。

⇒ 市として、どのような視点に基づいて子育て支援を推進していくのか、共通認識となるようなものとして活用していきたい。

② 先日市内でも水害があったが、その際改めて地域の方々とのつながりの重要性を実感した。子育てにおいても地域のつながりを構築していければ、より良い環境になるのではないか。

③ 標語をつくるのであれば、社会が明るくなるような、みんなで助け合っていけるようなものにしていくべきではないか。

配布資料

- | | | |
|---|-------------------------------|----------|
| ① | 霧島市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価 記入用シート | ・・・資料1 |
| ② | 平成 29 年度教育・保育施設の開設(認可)について | ・・・資料2 |
| ③ | 施設位置図 | ・・・資料2別紙 |
| ④ | 平成 29 年度に向けた教育・保育施設の移行予定について | ・・・資料3 |
| ⑤ | きりしま子育て合言葉(仮称)の作成について | ・・・資料4 |

事前配布資料

- ① 霧島市子ども・子育て支援事業計画 点検・評価シート